

記事内容

- ☆第24回地方委員会
- ☆第24回地方委員会 会長挨拶(要旨)
- ☆新任役員紹介
- ☆退任役員紹介/平尾会長テレ玉お正月番組
- ☆第24回地方委員会フォト/ネット21パソコン贈呈式
- ☆第27回参議院議員選挙必勝セレモニー/組合役員教育プログラム修了証書授与式
- ☆ピークカットアクション冬/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

2025年度の活動計画と 第27回参議院議員選挙に向けた総力の結集を確認

第24回地方委員会開催



連合埼玉は11月19日(火)、第24回地方委員会をロイヤルパインズホテル浦和にて、役員・地方委員など、約160名参加のもと開催しました。

また、埼玉県、さいたま市、労働福祉事業団体、関係団体、政党(立憲民主党、国民民主党)など13名のご来賓にご臨席賜り、ご挨拶いただきました。

地方委員会の中では、報告事項として2024年度活動経過報告、会計報告、議事項目2025年度活動計画、2025年度予算、役員の補充選出について審議され、全ての議案が満場一致にて承認されました。その後、第27回参議院議員選挙必勝決議の採択の後、「必勝セレモニー」を連合埼玉推薦候補予定者の熊谷裕人参議院議員出席のもと開催しました。セレモニーの最後には関口副会長の「ガンバロー」の発声で全員の当選に向けた意思合わせをおこないました。

2025年度も連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、取り組んでまいります。

連合埼玉第24回地方委員会での報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1) 2024年度 活動経過報告
- 2) 2024年度 会計報告
- 3) 2024年度 会計監査報告
- 4) 特別報告
 - ① 2024年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ② 2024年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 2025年度 活動計画(案)について
- 第2号議案 2025年度 予算(案)について
- 第3号議案 役員の補充選出について

【その他】

- 第27回参議院議員選挙必勝決議(案)の採択
- 第24回地方委員会アピール(案)の採択

連合埼玉第24回地方委員会 挨拶要旨

会長 平尾 幹雄



平尾幹雄会長

連合埼玉は、昨年11月15日に、第18回定期大会を開催し、2024年～2025年度の2年間の運動方針を、ご確認いただきましたが、早いもので、1年が経過致します。

この1年を振り返りますと、能登半島地震へのカンパ活動やボランティア活動など、組織の連帯力を発揮する取り組みや、

2024春季生活闘争での33年ぶりの5%台の賃上げ実現など、労働組合に求められている役割の発揮を含め、例年以上に「労働組合の存在感」を示せた1年でした。

改めまして、この1年間の活動に対する、ご尽力に敬意を表すると共に、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向け、携わっていただきました全ての団体・皆様に対し、心より感謝を申し上げます。地方委員会の開催にあたり、今年度を振り返りながら、4点ほど所見を述べさせていただきます、挨拶に代えさせていただきます。

【能登半島の災害について】

今年の元旦に発災した「令和6年能登半島地震」により、石川県をはじめ、富山県、新潟県など、大きな被害がありました。

すでに発災して10カ月半経過しておりますが、各構成組織の組合員の皆さんをはじめ、多くの仲間が、懸命なライフラインの復旧、そして、救援物資の手配・提供、救援カンパ、救援ボランティア派遣、女性・子ども支援など様々なかたちで、ご支援・ご協力頂きました。

その元旦の地震を乗り越え、生活再建へ、一歩ずつ踏み出そうとしている最中に、9月の後半の3連休に、記録的な大雨により、各所で河川の氾濫、土砂崩れが発生し、床上浸水もあり、さらに生活拠点である仮設住宅へ、容赦もなく濁流が押し寄せました。改めて、お亡くなりになった方のご冥福と、被災された全ての皆さまにお見舞いを申し上げます。

今回の二重災害をつうじて、「同じ災害は二つと無い」と言われることがありますが、そのことを痛感させられました。

【春季生活闘争について】

今年の2024春季生活闘争は、1991年以来となる、33年ぶりに定昇込みで、加重平均5.1%の賃上げが実現しました。また、埼玉県をはじめとする各都道府県の地域別最低賃金も5%台の引上げとなりました。そして、公務職場においても、人事院勧告をつうじて波及するなど、「賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換を図る正念場」として、2024春闘の結果は、まさしく「ステージ転換」に向けた大きな一歩となったと評価しています。一方、大手組合と中小組合の賃上げ率の格差が拡大したことは率直に受け止めなければなりません。格差是正のためにも、取引の適正化や労務費を含めた価格転嫁をより一層進め、製品やサービスも含めた労働の価値を認め合う社会へと転換していくことが重要ではないかと思ひます。

今後、具体的な方針が、各構成組織、産別をつうじて、確認

がされていくと思いますが、まだまだ、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費は低迷しています。

その実態は、物価高が家計を圧迫してきたことに加えて、中小企業や適切な価格転嫁・適正取引が進んでいない産業などで、働く多くの仲間にこの流れが十分に波及していないことも要因の一つとされています。また、十分に波及しなければ、デフレに後戻りする懸念すらあります。

これまでの取り組みや課題をしっかりと踏まえて、ステージ転換が確実になるよう取り組んで参ります。

【組織拡大と組織強化について】

最初の組織拡大については、今年度、各構成組織の協力の元策定した「連合埼玉組織拡大プラン2030」を、しっかりと実行に移していく必要があります。

特に、全ての働く仲間に大きく影響する2024春闘の賃上げ結果で見ても、厚生労働省が、先月末に発表した「賃金引上げ等の実態に関する調査」によると、労働組合がある企業と、ない企業で比較した結果、労働組合がある企業が4.5%の賃上げだったのに対して、労働組合がない企業は3.6%の賃上げとなり、その差が0.9%となりました。昨年度が0.3%の差だったことから、さらに労働組合がある企業の方が、賃上げ率に差がつく結果となりました。このような実態を踏まえながら、すべての働く仲間をまもり、つなぐ取り組みとして、構成組織・地域協議会・連合本部が一体となった組織拡大に取り組んでいく必要があります。

もう1つの組織強化については、連合運動の組織力の強化についてです。特に、連合運動の重要な取り組みの1つに、政策制度の実現があります。その政策制度の実現のためには、それぞれの地域で産業を超えて、横断的な視点から、政策制度の実現をつうじて、地域社会を作り上げていくことにつながると考えております。

【政治活動の取り組みについて】

まずは、第50回衆議院議員選挙についてです。全国の結果については、自公で215議席と15年ぶりに過半数割れとなりました。一方、立憲民主党は148議席、国民民主党は28議席と大幅に議席を伸ばしました。

また、埼玉選挙区においては、連合埼玉の推薦候補者15名の内、比例復活を含めて13名が当選することができました。改めて、各構成組織、加盟組合、そして各地域協議会の皆様には、これまでの周知活動を含めて、多大なるご支援、ご協力に感謝申し上げます。

今回の大幅な議席増については、裏金問題に端を発した自民党に対する有権者の不信感や怒りが、非公認とした候補者の支部に2,000万円を支給した事実が発覚したことで頂点に達し、国民の審判が下された結果となりました。

連合埼玉が推薦する埼玉選挙区の候補予定者、参議院議員熊谷裕人氏と、各構成組織の比例代表の組織内候補予定者全員の勝利をめざし、立憲民主党と国民民主党と連携しながら、各構成組織・加盟組合、各地域協議会が一体となって、連合埼玉17万組合員の総力を結集し、最大限の取り組みをお願いします。

新任役員紹介

①産別・単組 ②抱負

【副会長】

楠本 敏久(くすもと としひさ)

- ①UAゼンセン埼玉県支部
②はじめまして。11月1日に埼玉県支部に着任しましたUAゼンセン埼玉県支部「楠本」です。「誰のため 何のため」に活動・運動を進めていくのか、連合埼玉の構成組織として取り組んでいきますので、これからご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



【執行委員】

阿久津 元良(あくつ もとよし)

- ①国公総連
全農林埼玉分会
②国民が安心して暮らせる社会の構築に向け、良質な公共サービスを確立し、働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、連合の旗の下で運動を進めます。



【副事務局長】

山下 健次(やました けんじ)

- ①電機連合
日本電波工業労働組合
②これまでの地域協議会や単組役員としての経験がどこまでいかせるかわかりませんが、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、精一杯頑張って参りますのでよろしくお願い致します。



【特別執行委員】

野瀬 薫(のせ かおる)

- ①自動車総連
本田技研労働組合
②この度、連合埼玉の特別執行委員を拝命しました。初めてのことで不慣れな点もありますが、皆様のお力を借りながらより良い活動に繋がっていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



【執行委員】

若山 桂輔(わかやま けいすけ)

- ①電機連合
プロテリアル労働組合
桶川支部
②この度は大役を拝命し、身の引き締まる思いがあります。特に若年層の活性化に尽力し、皆様のご期待に応えられるよう努めてまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



退任役員紹介

①在任期間 ②産別・単組 ③ひとこと

【前副会長】

高井 哲郎(たかい てつろう)

- ①2020年11月～ 4年間
- ②U A ゼンセン埼玉県支部
- ③4年間大変お世話になりました。連合埼玉での活動はとても勉強になりました。行政とのかかわり方、他産別との連携の仕方、今後も継続していきたいと思います。ありがとうございました。



【前副事務局長】

白戸 貴文(しらと たかふみ)

- ①2023年11月～ 1年間
- ②電機連合
富士電機労働組合
- ③連合埼玉で従事させて頂いたのは短い期間ではありましたが、多種多様な業種の皆さまとの関わることができ、これまでの狭い世界観が大きく覆りました。これは私の人生において最も貴重な経験と財産です。単組に戻ってからも連合で学んだ事を忘れず、“はたらく人々”のために尽力を惜しまずに頑張っていく所存です。未熟であった私を支えて下さった多くの方々に、心より感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



【前執行委員】

宇田川 知克(うだがわ ともかつ)

- ①2020年11月～ 4年間
- ②国公総連埼玉
全農林労働組合埼玉分会
- ③本年7月の出身単組の大会において、中央執行委員の任に就くこととなり、このたび連合埼玉執行委員を退任させていただくことになりました。
業務を行いながらの活動であるため、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。
中央執行委員と言っても、関東ブロック担当ということもあり、引き続き埼玉におりますので、メーデーをはじめとする行事には参加させていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



【前執行委員】

木村 祐一(きむら ゆういち)

- ①2022年11月～ 2年間
- ②J AM埼玉
- ③青年代表として2年間、執行委員という大役を務めさせて頂きました。何かを成し遂げたという訳ではありませんが、会長始め役員の皆様のお力添えで続けることができました。この経験を産別でも活かしてまいります。ありがとうございました。



【前特別執行委員】

肥後 路子(ひご みちこ)

- ①2023年11月～ 1年間
- ②自動車総連
本田技研労働組合
- ③1年間という短い間でしたが、他産別の皆様と共に活動させていただくことで、自単組だけでは実感することの難しかった大きな繋がりや連合の活動内容について理解が進みました。自身の財産として、また社内外で周囲の人々にも共有していきたいと存じます。ありがとうございました。



平尾 幹雄会長 テレビ埼玉「新春賀詞特別番組」 出演のお知らせ

平尾 幹雄 会長出演の「新春賀詞特別番組」が
下記日程で放送されます。
ぜひ、ご覧ください！

放送日:2025年1月1日(水)
11:55~12:00
放送局:テレ玉(3ch)

第24回地方委員会フォト



開会あいさつ
鈴木裕幸副会長



議長 藤田めぐみ地方委員(UAゼンセン)
井上美保地方委員(電機連合)



書記 星野貴旭さん(青年委員会)
二野宮裕子さん(女性委員会)

来賓のみなさま



埼玉県
大野元裕知事



埼玉県労働協
近藤嘉理理事長



埼玉県労働局
片淵仁文局長



埼玉県経営者協会
原俊成会長



立憲民主党埼玉県連合
小宮山泰子代表



国民民主党埼玉県連合
鈴木義弘代表



上田清司
参議院議員



2024年度「埼玉県労働委員会」報告
今井信博副会長



2024年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告
高橋克彦副会長



第24回地方委員会アピール(案)の採択
木村祐一執行委員



閉会あいさつ
前原朝子副会長

ネットワークSAITAMA21運動

NPOを応援・支援するためにパソコンを贈呈

ネット21運動では、「NPO応援・物品助成プログラム」の取り組みの一つとして、毎年、NPO団体などに対してパソコン贈呈をおこなっています。

今年度は19団体からの応募があり、運営委員会による厳正な審査の結果、右表の10団体が当選いたしました。

パソコン贈呈式は、11月19日(火)ロイヤルパインズホテル浦和で開催した「連合埼玉第24回地方委員会」の開会前におこない、贈呈式後にはNPOと運営委員会による意見交換会もおこないました。今回を契機に「社会連帯」「共生社会」の実現に向けた協力関係を築いていきたいと考えています。



パソコン贈呈式

【贈呈団体一覧】

- ①公益社団法人 認知症の人と家族の会
埼玉県支部(さいたま市浦和区)
- ②元荒川の自然を守る会(越谷市)
- ③NPO法人 NPOにじいろ(熊谷市)
- ④NPO法人 ま・るーく(本庄市)
- ⑤NPO法人 さいたまチャイルドライン(朝霞市)
- ⑥NPO法人 熱いぞ熊谷からの野球教室(本庄市)
- ⑦NPO法人 地域で共に生きるナノ(三郷市)
- ⑧NPO法人 フードバンク埼玉(さいたま市浦和区)
- ⑨介護者支援の会草加(草加市)
- ⑩志木子育てネットワークひろがる輪(志木市)

第27回参議院議員選挙必勝セレモニー



必勝決議を受けて決意を語る
熊谷裕人参議院議員

来年7月に「第27回参議院議員選挙」が施行される予定となっています。それに向けて、連合埼玉では、11月19日(火)に開催した「第24回地方委員会」の中で、「必勝決議」を提案し、参加者満場一致で承認をいただきました。その後、「必勝セレモニー」を実施しました。必勝セレモニーには、既に連合埼玉推薦が決定している、埼玉選挙区の「熊谷裕人」参議院議員と連合本部にて推薦確認されている9つの構成組織の比例区組織内候補予定者のパネルが勢ぞろいしました。最後に関口副会長の発声による「ガンバロー三唱」をおこない、連合埼玉17万人の総力を結集して戦い抜くことを確認されました。



構成組織の比例区組織内候補予定者のパネルを持って必勝を誓う

【構成組織比例区組織内候補予定者】

UAゼンセン	田村まみ	(国民民主党)	自動車総連	いそざき哲史(国民民主党)
JAM	郡山りょう	(立憲民主党)	JP労組	小沢まさひと(立憲民主党)
自治労	岸まきこ	(立憲民主党)	私鉄総連	もりやたかし(立憲民主党)
情報労連	吉川さおり	(立憲民主党)	電力総連	浜野よしふみ(国民民主党)
日教組	みずおか俊一	(立憲民主党)		

2024「組合役員教育プログラム」修了証書授与式

組織を担う次のリーダーを育成

10月30日(水)あけぼのビル502会議室において、組合役員教育プログラムの2024年度の修了証書授与式が開催されました。本年度は基礎講座1名、実務講座1名とスキルアップ講座2名が各講座における全プログラムを終了し、基礎講座から菅野雅人さん(電力総連:関電工労働組合)、実務講座とスキルアップ講座から諏訪雄輔さん(全電線:SEOF労働組合)が修了証書授与式に参加しました。また、各講座において講師を務めたJ.union大川守氏も参加し、2024年度の活動を振り返る場になりました。

組合役員教育プログラム運営委員会の鈴木委員長から主催者代表挨拶の後、連合埼玉の平尾会長から、自身の実体験をベースにした「修了証書授与にあたって」と題した講話がありました。講話は労働組合での役員経歴の紹介から始まり、「組合役員で苦労したこと(業績悪化時の構造改革時の組合員とのやりとりなど)や地域とのつながりを大切に思い活動している」と参加者に語りな

がら対話形式で参加者の意見も聞きながら進めました。

その後、諏訪さんから、「講師の大川さんとはいろいろな話をすることができました。今回で3講座すべて終了して今後受けられず話ができないのは残念」と大川氏も苦笑することを語られ、「受講した内容をいかして組合役員としてしっかりと努めたい」とメッセージが送られました。

菅野さんから「はじめは前向きではなかったが、受講していくうちに、熱心に取り込めるようになった。今後、他の講座も前向きに受講を考えたい」と認識の変化が語られました。

組合役員教育プログラムは、2012年に自前では教育ができない組合のために基礎講座からスタートし、本年度までに延べ3,401名が受講しました。未参加の組織は、次のリーダー育成やスキルアップのためにも参加をご検討いただきたいと思います。



会場の様子



菅野雅人氏



諏訪雄輔氏



修了者を囲んで

ピークカットアクション2024冬

連合は、組合員一人ひとりができるところから環境を考えた行動を心がけ、持続可能な社会をつくる「連合エコライフ」運動を推進しています。



7 省エネモード・スリープモード



13 省エネモード・スリープモード

はたらくのそばで、
ともに歩む

連合エコライフ

ピークカットアクション冬

2024



パソコン

① 省エネモードなど各機器の節電機能を活用しよう。
★② プリンター等の共有機器の使用台数を必要最低限に。
③ 仕事おわりには共有機器の主電源を切って終了。できればテーブルタップの電源オフ。



エアコン

① 屋内、屋外等の職場環境に応じた服装の調整。ウォームビズの実践を。
② 暖房機器の使用時は、カーテン・ブラインド、サーキュレーターを活用しよう。
★③ こまめにエアコンのフィルター清掃をしよう。



照明

★④ 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、こまめな消灯を。
⑤ LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の引きを。
⑥ 目負担をかけない範囲で明かりを抑えよう。



冷蔵庫

★⑩ 詰め込みすぎず、温度設定を控えめに(強にしない)。
⑪ 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短く。



洗濯機

★⑫ 温水洗浄便座は、温度設定を控えめに。
⑬ 使用後は便座のふたを閉めて。



エレベーター

★⑭ 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に。

★マークはこの冬のピックアップ項目です。さらなる節電につながるため、心がけて取り組んでみましょう。

現在予定される12月の日程表です

12月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日		北方領土返還要求アピール行動(10:00～・日比谷公園)
2日	月	①第1回四役・執行委員会(10:00～・ときわ会館) ②RK産別協力会議(16:15～・ときわ会館)	朝霞・東入間地域協議会「政策制度意見交換会」(18:00～・日本梱包運輸倉庫労働組合)
3日	火	連合埼玉役員OB会交流会(アドニス小川カントリー)	第1回連合オルガナイザー会議(14:30～・連合本部)
4日	水		連合「2025春季生活闘争格差是正フォーラム」(14:30～・Web開催)
5日	木		
6日	金		比企地域協議会「第36回地協委員会」(17:00～・ガーデンホテル紫雲閣)
7日	土		
8日	日	ネット21「地域セミナーin南部」(13:30～・志木市民仮設会議室)	
9日	月		①独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「令和6年度埼玉訓練計画専門部会」(13:30～・埼玉職業能力開発促進センター) ②第4回最低賃金対策会議(15:30～・連合会館) ③連合「第4回全国最低賃金対策会議」(15:30～・Web開催)
10日	火	全国一斉集中労働相談ホットライン	平成国際大学「ワークルール」ワークショップ(10:40～・平成国際大学)
11日	水	全国一斉集中労働相談ホットライン	①中央労働金庫埼玉県本部「運営委員会」(15:00～・中央労働金庫埼玉県本部) ②川越・西入間地域協議会「幹事会」(18:00～・ネット21川越)
12日	木	①ネット21「第6回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会議室) ②第1回ジェンダー平等・多様性推進委員会(15:00～・連合埼玉会議室)	
13日	金		①連合関東ブロック連絡会「春闘会議」(14:00～) ②連合関東ブロック連絡会「第35回定期総会」(16:00～)
14日	土		
15日	日		
16日	月	埼玉公務労協「第2回幹事会」(18:30～・連合埼玉会議室)	
17日	火	①第1回ライフサポートステーション運営会議(10:00～・連合埼玉会議室) ②第1回拡大アドバイザー会議(15:00～・連合埼玉会議室)	
18日	水	埼玉シニア連合「第1回四役会」「第1回幹事会」(13:00～・連合埼玉会議室)	
19日	木		
20日	金		
21日	土		
22日	日		
23日	月		西部第四地域協議会「幹事会」「第8回地協委員会」(17:00～・ヘリテージ飯能)
24日	火		
25日	水		①中央労働金庫「企画委員会」(11:00～・中央労働金庫本店) ②中央労働金庫「理事会」(13:30～・中央労働金庫本店)
26日	木		
27日	金		
28日	土		
29日	日	年末年始休暇	
30日	月		
31日	火		

「男女平等参画、ジェンダー平等の推進、均等待遇、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語優秀賞
◇最優秀賞 認め合い 個性輝く 新時代
(印刷労連関東北部甲信越地方協議会 凸版印刷労働組合・武内 駿)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

- 7 -

E-mail: rengo-saitama@saitama.jtuc-rengo.jp
URL https://rengo-saitama.jp/



◆「第24回地方委員会」を終えて

連合埼玉は、11月19日(火)にロイヤルパインズホテル浦和にて、「第24回地方委員会」を開催し、2025年度活動計画(案)ならびに役員の補充選出などについて提案し、代議員の皆様より承認を受けました。また、高井副会長(UAゼンセン)、白戸副事務局長(電機連合)、宇田川執行委員(国公総連)、木村執行委員(青年委員会)、肥後特別執行委員(自動車総連)以上の5名が、本地方委員会をもって退任しました。退任役員皆様のこれまでのご尽力に対しまして、心より感謝・御礼を申し上げます。

そして、平尾体制2年目の運動がスタートしました。

2025年度における運動のポイントは、

- 2024年度は、すべての働く仲間をまもり、つなぐ取り組みとして、職場点検活動、組織拡大オルガナイザー、組織拡大担当者のスキルアップなどをつうじて組織拡大・強化を進めてきた。あらゆる活動を進める源泉は組織力であり、引き続き、構成組織・地域協議会・連合本部が一体となった組織拡大・強化に取り組んでいく。
- フリーランスの労働環境改善にあたり、「フリーランス新法」の施行も念頭に、曖昧な雇用で働く就業者のセーフティネット強化・仲間づくりに向けた連合本部が設立する「フリーランス労災保険センター」およびWor-Qの周知・加入促進をはかっていく。
- 連合運動への理解・共感・参加を広げるための取り組みとして、発信力・拡散力の強化、コミュニケーションの活性化をはかりながら、組織内外に広く労働組合の価値を浸透させていく。
- 2024春季生活闘争では、1991年以来となる定昇込み5%台の賃上げが実現し、公務職場にも人事院勧告をつうじて波及するなど、ステージ転換に向けた大きな一歩を踏み出した。また、「連合アクション」とも運動した諸行動の展開、積極的な情報発信などにより、社会的な注目度を高め、継続的な賃上げや適正取引に向けた社会的機運の醸成につながった。引き続き、経済も賃金も物価も安定的に上昇するステージへの転換を確実なものとするために、2025春季生活闘争方針の確立に向けて議論を深めていく。
- 少子高齢化・人口減少に歯止めがかからず、格差の拡大・貧困の固定化など構造課題が山積する日本において「働くことを軸とする安心社会一まもる・つなぐ・創り出す」を実現するには、構造課題の解決と将来不安払しょくに向けた抜本的な対策が必要である。今年度は、

連合本部と連携し、働き方改革関連法の実効性確保や労働者保護に資する労働関係法制の見直しに向けて、政策・運動の両面から取り組みを進める。さらに、財政規律と歳出構造の見直し、加速化する生成AIなどへの対応、次期年金制度改革、給特法改正について、推薦議員などと連携しながら取り組みを進める。

○ジェンダー平等社会実現に向けて、「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2を策定する。その目標達成に向けて、すべての労働組合における取り組みを加速させる。また、カスタマー・ハラスメントを含むハラスメント対策強化、女性活躍にかかわる取り組みの実効性向上に向けた取り組みを進める。

○与党の政権運営の綻びや政治とカネの問題に対する国民の不信感は極めて高まっている。来る国政選挙に向けては、与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセットする好機と捉え、働く者・生活者の立場に立つ政治勢力の拡大に向けて取り組んでいく。また、中間選挙においても、構成組織・地域協議会が一体となった取り組みを進める。

○2025年は第二次世界大戦の終結から80年の節目となる。ロシアによるウクライナ侵攻、中東やミャンマー情勢など依然として各地で平和や人権が脅かされている状況にある。引き続き、連合本部と連携して国際労働運動をつうじた恒久平和と自由・人権が保障された民主的な国際社会の実現を追求していく。

○各地域協議会においては、構成組織・単組の企業再編、事業統合などにより労働組合数および専従者が減少し、役員継承、運営などに支障を与えている。これらの課題解消とあわせて、地域協議会の役割である「全国で統一に取り組む2つのコア活動」と「各地域の特色を活かした活動」を地域事務所と連携して展開するために、地域協議会の再編成に向けた取り組みを進める。

以上となります。

今年度も、直面する課題の克服や基盤強化の取り組みを一層深化させるとともに、「働くことを軸とする安心社会一まもる・つなぐ・創り出す」に向けて、社会経済のステージ転換を確かなものにするべく取り組みを推進します。

また、SDGsの17の目標を意識しながら、労働組合が持つ社会的価値を広く訴え、理解と共感を得ながら、希望ある未来が次の世代に続いていく「持続可能性」と互いに認め・支え合い、誰一人取り残されることのない「包摂」の理念を重視し、諸活動を進めていきます。

なお、これらの運動を進める上で課題は山積しており、役員だけでは運動目標を達成することはできません。加盟組織の組合員はもとより、県民の皆様の「必ずそばにいる存在」でいられるよう、構成組織・加盟組合・地域協議会の皆様と一体となって諸活動を展開していきます。皆様方の引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

2024.11.25